

「はたらくクルマ」のことがもっと好きになるトラック情報誌

月刊トラックランド



読者プレゼント

スカニアグッズが
貰える!

ジャパントラックショー2026 展示会レポート

トラックランドユーザーインタビュー

株式会社Logistep

- 特別コラボ企画「コココテン・ヨコハマ」
- リース車両カタログ
- 厳選在庫車両カタログ

納車レポート

『S-RENT』株式会社ライフサポート・エガワ
『ランドレンタカー』三菱自動車工業株式会社

2026
JUL vol. 56

TAKE FREE

スカニアを
もっと気軽に、より身近に

スカニアトラックのレンタルサービス **エス・レント**

S-RENT



※写真は欧州仕様車です。日本市場向け仕様とは異なります。

25	厳選在庫車両カタログ ・アルミバン ・平ボディ ・ダンブ ・セルフローダー ・粉粒体運搬車 ・トラクタヘッド ・その他
19	サブスクリプションのり車両カタログ
17	《納車レポート》 株式会社ライフサポート・エガワ 三菱自動車工業株式会社
15	『S・RENTショールーム』オープン！ 東日本車両センター新オフィス紹介
13	ジャパントラックショー2026 特別コラボ企画 コココテン・ヨコハマ
5	ジャパントラックショー2026 展示会レポート
1	トラックランドユーザーインタビュー 株式会社Logistep

目次写真：神奈川県横浜市・横浜臨港幹線道路（国際大通り）

KAITORI MAX 買取マックス

from トラックランド

トラック・バス・建機
トレーラー・乗用車
即日高価買取

- ✓ 低年式過走行OK
- ✓ 日本全国買取台数3000台以上
- ✓ 事故車・水没車OK
- ✓ 書類手続き代行無料

今すぐ無料査定！

まずはこちらに
お電話ください

0120-311-025
【受付時間】10:00~18:00 土日祝定休
サティ レッツゴー

詳しい内容を確認する▶▶
買取マックス トラック



レンタカー 冷蔵冷凍車

車両準備はできていますか!?



個人・法人
問わず
ご利用可能

通常10日分の料金で
1ヶ月ご利用できます
月額税別 **14万円~** 月額税込15.4万円~

※軽冷凍パンをご利用の場合

●「わ」ナンバー車両 ●各種保険加入済み ●全国陸送対応!

豊富なラインナップ!! 詳しくは カタログページ or WEB をご覧ください!

トラック・商用車のレンタルサービス

ランドレンタカー

0120-784-893

お電話受付時間:
平日10~17時(土・日・祝休)

ランドレンタカー

https://landrentacar.jp



KYOKUTO

強靱な赤。

HYPERSWING
HOOKROLL

これまでよりさらにパワフル、さらにスピーディーに進化。
あらゆる現場に対応できる無敵のハイバースィング。
圧倒的な力で現場作業をサポートします。

吊上げ能力
約**13%**
アップ

作業スピード
約**10%**
アップ

- ・アーム強度の向上と油圧の高圧化により、吊上げ能力を約13%向上
- ・油圧機構の刷新と極東独自のシステムの採用により、作業スピード約10%向上とスムーズ化を実現
- ・車体設計、スイングモーションの最適化により、作業全高の低減と作業全長の短縮化を実現
- ・作業性をさらに向上させる、「フックチルト」と「ワイヤレスリモコン」を標準装備
- ・最適な車体設計により、従来機に比べ軽量化を実現

極東開発工業株式会社

本社/大阪府大阪市中央区淡路町二丁目5番11号 極東開発グループビル 〒541-8519 TEL.(06)6205-7800
東京本部/東京都品川区東品川3-15-10 〒140-0002 TEL.(03)5781-9821

ホームページ・アドレス <http://www.kyokuto.com/>

●北海道支店 ☎(011)251-5701 ●東北支店 ☎(022)236-6692 ●首都圏支店 ☎(03)5781-9825 ●北関東支店 ☎(048)668-7712 ●中部支店 ☎(0563)71-223 ●関西支店 ☎(0798)66-1011
●中国支店 ☎(082)232-8358 ●九州支店 ☎(092)471-1001

く、基本的に東京港や横浜港など関東に集中しています。あとは軽バンを使用している配送も行っていますが、常時というわけではなくスポット的な配送を行っています。軽バンが全車稼働するということはほとんどなく、土日は港湾が閉まるので仕事も合わせて休みにな



Logistepについてお聞かせください
主な事業内容として、港湾関連輸送事業という港の中の仕事をしています。それから一般貨物の事業として海上コンテナ輸送ですね。協力していただいている会社さんと、自社のトレーラー合わせて全40台のトレーラーを使用しています。海上コンテナもあれば、ISOタンクコンテナという危険物を扱うコンテナなども弊社に依頼が来た際に協力会社さんに委託するような形で運用しています。可動範囲はトレーラーでの長距離運行はそこまで多くなく、

基本的には東京港や横浜港など関東に集中しています。あとは軽バンを使用している配送も行っていますが、常時というわけではなくスポット的な配送を行っています。軽バンが全車稼働するということはほとんどなく、土日は港湾が閉まるので仕事も合わせて休みにな

創業の経緯や貴社の歴史をお聞かせください
元々港湾での人出しの仕事か

は小型・中型が10台、トラックヘッドが10台あり、ドライバリーの人数ですと22名になります。一番人員が多いのが、港湾の中のフォークリフト作業員です。あとは横浜港などは車の輸出入が多いので、自動車回送の運転手。そのほか荷物のバンニング・デバンニングという、いわゆるコンテナの積み下ろしを行う作業員ですね。そういった人員を港に多く配置しています。



ら始め、それらに関連する免許を取得した流れで港の仕事を中心にやってきました。さらに関連する仕事を広げていくということで、海上コンテナ仕事の関連性が高かったものですから、そこからシフトしていく運輸事業部が発足しました。まだ創業12年の若い会社ですので、これから倉庫業などの他の分野に取り組んでいくのですが、まず創業の経緯としては港から。そしてトラックにシフトしていったというのが一連の流れになります。先ほどお話した通り、創業が10年ちょっとと浅いので、まだまだこれから伸びしろのある会社ですね。色んな事業って言うよりも港湾関係

を主体とした事業。今は内陸の商業貨物も扱っていますが、基本的には貿易貨物を中心に。そちらをある程度専門的に扱える会社にしていきたいという思いがあります。社名に関してですが、創業当初は「株式会社Roop」という社名でした。「Roop」の時代はまさに港湾の仕事しかしてなかったんです。社名を変えたのは「ロジスティック (Logistic)」物流という言葉に絡めました。名前を見れば「ああ、運送業者だな」と分かってもらえるような狙いを込めて「Logistep」という社名に改名したのが3年くらい前ですね。

※1：ホテルなどで使われるベッドシーツや枕カバー、タオルなどの布製品全般。 ※2：企業向け配達の略称。



USER
INTERVIEW
トラックランド
ユーザーインタビュー
45

株式会社Logistep

きたむら けんいち
取締役 事業統括本部長 北村 健一氏

記事・写真：月刊トラックランド編集部 写真提供：株式会社 Logistep

オールインワンの輸送体系を
弊社で作り上げることが目標です。

神奈川県横浜市金沢区に本社を構える株式会社 Logistep。同社は港湾関係を中心とした輸送事業を行う、創業12年を迎えた勢いのある企業だ。拠点・車両数を着実に増強し、今後も事業拡大に向け歩み続けている。取締役統括本部長、北村健一氏にお話を伺った。



【株式会社 Logistep】
設立：2015年2月
本社住所：神奈川県横浜市金沢区鳥浜町5番21号
事業内容：港湾地区業務委託作業、海上コンテナ輸送、一般派遣業務
保有車両：小型、中型10台、トラクタヘッド10台
従業員数：83名（グループ会社含）



業務のこだわりや貴社独自の取り組みについてお聞かせください

とにかく安全意識については強い思い入れがあります。トラックの運行、港での作業は常に危険が隣り合わせの環境ですので安全を最優先。絶対に危険な行為はしないし、危険な場所には近づかない。特に海上コンテナはトラックの中で一番大きいので、危険も大きい。そういったものを扱っていると自覚してもらいために安全教育であったり、外部講師を招いての講習。とにかく安全運転、安全作業、

思います。車両も今のところ故障がないので、心配はほとんどないですね。自社の車はよく故障するんですが（笑）。

SNSが活発ですが、運用や社内活動についてお聞かせください

弊社は人事と広報が一緒になっていのですが、担当者が色々研究しながらSNSを動かしてくれています。会社の広告という面もありますが、もう1つは求人に関してですね。面白いと感じていただけで、いわゆる呼び水になればいいかなと考えています。SNSに関しても去年から始めたばかりなので、まだまだこれからです。

社内活動に関してはツーリングクラブがあり、数ヶ月に一回のペースで社内のバイク乗りで集まっています。おそろいのオリジナルTシャツがあるのですが、弊社のコンテナ課の課長にデザインしてもら

これを一番に徹底させています。

他の会社さんもやっていることは同じですが、安全に對しての熱量ですね。例えば安全に関する技能テスト。弊社の加入している神奈川県自動車交通共済協同組合が主催しているテストを受けるなどして安全意識を高めています。実は弊社のドライバーは、ウチで初めて車に乗る人が多いんです。今まで工場で働いてました、営業を

てました、など生業としてハンドルを握る、車を運転してお金を稼ぐということをしたい方たちがドライバーをやってみたいということで入社します。当たり前のことですが普段乗用車に乗っているといっても、それは仕事とは異なります。仕事としての運転となれば、お客様がいてお届け先があつて色んな絡みがある。時間の制約もありますし、納品時での挨拶、礼儀作

法なんかも気を付けないといけないことですので、全員に初任研修というのを受けていただいています。これは安全運行上必要なことで義務付けられているのですが、それ以外にも個々でオリエンテーションを兼ねた安全教育というのを行い、各運輸部長が運送業界がどういうものなのかを最初に周知しています。

弊社サービスを知ったきっかけや、サービス利用の感想をお聞かせください

元々他社さんの同様のサービスを利用していたのですが、それ以外のサービスも調べる

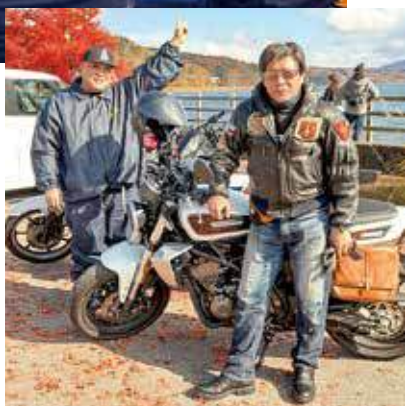


なかでトラックランドさんを見つけました。現在、月額定額制のリースでお借りしている車両が小型トラックなのですが、これを扱う仕事を始めたのが去年の1月からで、まだ1年と数ヶ月しか経ってないんです。稼働当初は中々採算が取れない。じゃあ次にどうしようとなった時に、中古車を購入しようということでも5台購入したんです。それから車両が相次いで故障してしまひまして、これ以上台数を増やしても大変だということで、メンテナンス付帯のリース車両を探中で御社を見つめました。営業さんから料金等の説明をいただき、これなら採算が取れそうだなということで始めたのがきっかけですね。現状5台ほど利用していますが、新しい仕事の予定もあり今後も台数を増やしていく予定です。2t車の事業は始めたばかりですので、今後この事業を続けていけるのか、見込みがあるかリサーチを兼



ねて模索中です。やはり3年ぐらいはやってみたいと結果がわからないですが、2t車両といっても1台で何百万円もかかりますからね。現状の事業規模ですと10台程度必要ですが、そういった車両の投資を行っても結果がダメであれば撤退しないといけない。リスクを考えると自社に見合った考え方をしないといけないので、「サブスケデスグのり」の車両を利用しています。今後、事業に見通しが立ってくればどんどん自社の車両に切り替えていこうと思います。

このサービスは、弊社の現状の業務や仕組みとマッチしていると



い、それを着て出先でみんな写真撮るんです（笑）。最近ですと紅葉の時期に河口湖方面まで行きました。

貴社の現在と今後の展望をお聞かせください

現在会社の五カ年計画を立てており、今年で3年目を迎えました。当初の予定に沿って事業を進めている中で、トラックランドさんに関わりのある小型トラック部門は計画目標に対して大きくずれることなく稼働できています。当面この事業に関しては、現状10台



で回している車の台数を増やし拡大できればと考えています。増車した車に関しては貿易貨物の専門用語で「デバンオントラック」という輸送方法があるんですが、そちらに運用できればと考えています。

海上コンテナに積んだ荷物をそのままお客様のところを持つていくのですが、荷物がパレットに載っていないこともあります。お客様の方で荷下ろしはしてもらうのですが、バラの荷物では対応出来ないというケースも増えていて、そうなるとう海上コンテナでは来ないでほしいという声があります。なので港の倉庫の段階で、「パレタイズ」といって荷物をパレットに載せる。その状態で、お客様のところへトラックで届けることができますという輸送形態をしつかりと形作るうとしています。また、海上コンテナは港の出入りに運賃が発生するのですが、コンテナはヤードに返却しないといけないので必ず往復で運賃が発生してしまいう。デバンオントラックを拡大し、運用を加速させていきたいですね。その点も踏まえ、2tや4tトラックの仕事がどん



の流れを弊社で完結させることが展望です。



特集.02

Japan Truck Show 2026

Photo Report

ジャパントラックショー2026
フォトレポート





ジャパントラックショー 2026

たくさんのご来場ありがとうございました！ 弊社出展ブース紹介！

トラック関連業界、日本最大の総合展示会『ジャパントラックショー 2026』が5月14日(木)～16日(土)の3日間に渡り開催され、弊社株式会社タカネットサービスも出展いたしました。

会期中、多数の来場者の方々に弊社ブースにお越しいただきました。誠にありがとうございました！今回の出展では、昨年末より開始した月額定額制のスカニア車両レンタルサービス『S-RENT(エス・レント)』をはじめ、必要な車両を必要な期間だけ気軽に利用できる営業ナンバー対応型短期リース『サブスク de スグのり』、商用バンから大型ダンプまで幅広いラインナップの車両を取り揃えた『ランドレンタカー』。「買う時代から借りる時代へ」という主題のもと、3つのサービスをご提案いたしました。本記事では会期中の弊社ブースの様子をご紹介します！

トラックスショーとは

2016年からスタートし、今年で5回目の開催となった『ジャパントラックショー 2026』。出展社数は約170社、来場者数は会期3日間で6万6831名と前回を上回り過去最大規模の展示会となりました。今回の開催テーマは「持続可能な物流の未来」

「2024年問題」を経て物流企業がどのように変化しているのか、また今後の「2030年問題」に向け、省力化・省人化など物流業界が直面している様々な課題を見据えた技術や製品、サービスが各社から展示されていました。会場となったパシフィコ横浜(横浜市西区みなとみらい)では、日本の4大トラックメーカーをはじめとしたトラックに関連する企業が集結し、約150台の車両が展示される圧巻の空間となりました。また、今回の展示会ではスカニアやボルボなど国外



メーカーの車両も多数展示されており、トラックの市場や時代の移り変わりを感じられました。他にも架装メーカー、部品、ITなどの周辺機器、整備、アフターサービスと、トラックに関連する事業者が多数出展し、国内最大級という触れ込みに相応しい総合展示会となりました。

弊社では、スカニアトラックの新レンタルサービスの『S-RENT(エス・レント)』、定額リース料でトラックが利用できる『サブスク de スグのり』、働くクルマのレンタルサービス『ランドレンタカー』の紹介をメインに、スカニアのトラックヘッドや新車の大型アルミウィング、冷凍バンの計3台を展示いたしました。

展示1

S-RENT

昨年末よりサービスを開始した『S-RENT』は、世界

的重工業会社「スカニア(Scania)」の高性能・高品質なトラックがレンタルできるサービスです。レンタル期間は最長2年間ご利用いただける月額定額制。営業ナンバー(緑ナンバー)に対応しているので、事業用としてもご利用いただけます。また、定期メンテナンスの他にスカニア専属ディーラーによる24時間サポートを完備しているので、初めてスカニア車両をご利用いただく方でも安心していただけます。サービス開始からお問い合わせを非常に多くいただいている当サービス。弊社ブースでは、スカニアの最新モデルである「SUPER」のトラックヘッドを試乗車として展示しており、会期中大勢の方に広げて快適な車内空間の魅力に触れていただきました。普段はなかなかお目にかかる機会が少ない車両ということもあってか、日頃トラックを利用する事業者の方だけでなく、学生やトラックが好



きな家族連れなど、多様な来場者の方々に好評いただきました。終日試乗待ちの列が続き、スカニア車両に対する関心の高さが伺えました。

展示2

サブスケデスグのり

『サブスケデスグのり』は、新車（利用期間…3年）、中古車（同…1年）の車両を音楽や映画のサブスクリプションサービスのような気軽さで利用いただける、営業ナンバー対応型の短期リースです。月額費用内にメンテナンス料金が含まれる為、整備や修理などが発生してもリース金額以上のコストがかかりません。購入以外の選択肢として、リース・レンタル利用での車両調達が定着しつつある昨今、前回のトラックショー2024に引き続き当社の基幹事業としてご紹介しましたが運送事業者様だけでなく、多様な業種の法人様にサービスの概要やご質問をいただき、所有し

ない車両運用に対する強い関心が見受けられました。

今回は展示車両の2台目として、新車の大型アルミウィングをご用意。こちらもご来場された方にキャブ内部をご覧いただけるよう、専用スロープを設置し車両をご体感いただきました。新車という事もあってか車両の外観や運転席だけでなく、足回りやウィング庫内などの細部を熱心に撮影される方が多くいらっしゃいました。

展示3

ランドレンタカー

商用車のレンタルサービス『ランドレンタカー』はカーゴ車以外にも、ダンプや車載車など多岐に渡る車両をご用意しており、リピーターのお客様が多くいらっしゃいます。最短1日からレンタル可能。長期でのレンタルも承っており、特に「マンスリープラン」は10日分のレンタル料金で1ヶ月間ご利用いただける

ためご好評いただいております。ランドレンタカーではこれからの時期に重宝する小型冷凍バンを展示。現在稼働中の車両として、荷台部など細部もご覧いただきながらご案内いたしました。展示車両が冷凍バンということもあり、食品を主に扱う運送業の方からのお声を多数いただきました。

その他

弊社ブースでは車両やサービス紹介だけでなく、ビジネス以外のお客様にも楽しんでいただけるよう、ノベルティやお子様などに楽しんでいただける企画をご用意しました。塗り絵を楽しんでいただけるお絵描きブースを設け、ただ塗り終わりではなく、QRスキャン技術を利用し、大きなモニターの中を描いたトラックが走るという新たな試みを実施しました。こちらも多くさんの反響をいただき、「もう一回描きたい!」というお子

様が多くいらつしやるなど、イベント最終日の終了間際までたくさんのご家族連れで賑わいました。また、今回弊社ではトラックショーの開催に併せて実施された高校生画家の「杉本湖子」さんの個展『ココテン・ヨコハマ』のスペシャルサポーターとして協賛させていただきました。連動企画として、先ほどご紹介したお絵描きブースのデザインにご協力いただき、非常にかわいらしい空間に仕上げていただきました。さらに、お子様向けのノベルティとして今回のコラボレーション企画に合わせて制作したハンカチをプレゼント。こちらも大変好評いただきました。13ページにて『ココテン・ヨコハマ』の特集記事を掲載していますので、併せて是非ご覧ください。連日、大勢の来場者の方にお立ち寄りいただき、誠にありがとうございました。これからも皆さんの役に立てるよう、サービスを充実させてまいります。



トランテックス
Trantechs Ltd.

力強く、美しく。
プロフェッショナルな選択。



タカネットサービス様納入スカニア「SUPER」1号車

<https://www.trantechs.co.jp>



欧州製トラック専門販売サイト

EURO TRUCKS

<https://euro-trucks.jp>

New UT-1400R

THERMOKING
undermount Unit



主な特徴

- 信頼のX430コンプレッサ採用高い信頼性を確保
- クラス最高の冷却能力
- 全幅≒200mm削減&約40kgの軽量化 (W 1608 X H 636 X D 721)
- 騒音の低減
- ETVを標準装備し最適負荷運転
 - 20%以上の燃費向上 (当社比)
 - 正確な温度制御
- フロントオープンタイプで整備性向上

THERMO KING

梅雨の季節 タイヤの残溝点検はお済ですか?
スリップサインが出ているタイヤで走行は危険です

① 走行性能が低下
② ブレーキ性能が低下
③ 雨天時の排水効果に変化

危! 険

タイヤにスリップサインが出ている場合は、整備不良になり罰則の対象になる可能性があります

● タイヤスリップサインの違反点数 2点
● タイヤスリップサインの罰金 大型車 12000円
※ 残溝1.6mm以下のタイヤは使用してはならないと法律で定められています

タイヤ溝の不足は重大な事故に繋がります
安全に運行して頂くためにも運行前点検やタイヤ交換を行しましょう!



株式会社 ニッタ タイヤ

<https://www.nittatire.co.jp/>

本社〒373-0813 群馬県太田市内ヶ島町211-1
☎0276-46-2155(代) FAX0276-48-0178



ジャパントラックショー 2026 開催記念同時企画

想いを運ぶ TNS×コココテン

トラックの荷台部を多目的スペースとして利用できる
「てん・てん・店舗」。こちらの車両を活用したアート展が
5月15日(金)～17日(日)の3日間「臨港パーク」で開催されました。



『コココテン・ヨコハマ』は
高校生画家「杉本湖子」さん
の個展として、初めて関東で
実施され、弊社はスペシャル
サポーターとして協賛させて
いただきました。

今回の個展はジャパントラック
ショー2026に合わせ、パシ
フィコ横浜からほど近い臨港
パークで行われました。

海に近く、潮風を感じる素晴ら
しいロケーションでの展示会と
なり、また弊社とのコラボ企
画として、トラック・運送を
キーワードに「運ぶ」とい
うテーマの新作を発表しまし
た。トラックを模したタコが、
荷物を「運ぶ」かわいらし
い作品に仕上げてくださりま
した。こちらの絵は会期初日
に授与式を行い、弊社に寄贈
いただきました。トラック
ショーでの弊社お絵描きブー
スのデザインコラボでは、パ
ステルな色遣いに来場され
た方からも「かわいい」と
いうお声を多くいただきました。
本記事では、個展の様子
を写真でご紹介します。





『S-RENT ショールーム』オープン！ トラックランド東日本車両センターが 新しくなりました！

弊社は昨年末にサービス開始、今年4月から本格始動した、スカニア車両のレンタルサービス『S-RENT（エス・レント）』を広く打ち出すためのショールームをオープン。また同月にトラックランド東日本車両センターのオフィスを一新いたしました。

『S-RENT ショールーム』ではスカニアのブランドカラーであるディープブルーや、スカニア本社が拠点を構える北欧のデザインを基調としたラウンジ家具を取り入れております。また、ショールームでは実際にスカニア車両を展示しているので、車両を間近でご覧いただいたり、快適な車内空間をご体感いただけます。

トラックランド東日本車両センターでは、オフィスと食堂も一新。ショールームとテイストを揃え、ウッド調の空間にアクセントカラーのブルーが映える落ち着いた空間となりました。

昨年末、改装した弊社本社に続いて、トラックランド東日本車両センターもオフィスを一新！
カウンタースペースが加わり、より快適なオフィスへとリニューアル。
新たにオープンしたショールームも合わせて写真と共にご紹介いたします。



S-RENT ご利用ユーザー様

株式会社ライフサポート・エガワ様

【リース車両】 メーカー：スカニア
年式：令和8年 車体形状：トラクタヘッド

スカニアトラックを 営業ナンバー定額料金で利用可能

ライフサポート・エガワ様に、弊社新サービスのスカニアトラックのレンタルサービス「S-RENT」をご利用いただき、スカニアの新型「SUPER」トラクタヘッドを1台納車させていただきました。

今回初めてスカニア車両をご利用いただくことで、関東地区でのお菓子など食料品の運搬に利用予定となります。

「スカニア車両の燃費の良さに魅力を感じています、現行で走らせている国産車との対比も気になりますね」他にも、スカニアのブランド効果による採用・求人面などのリクルート効果に期待の声をいただきました。



ランドレンタカー ご利用ユーザー様

三菱自動車工業株式会社様

【リース車両】 メーカー：ふそう
年式：平成28年 車体形状：セーフティーローダー

繁忙期でも長期レンタル可能な 車両を確保

今回、三菱自動車工業株式会社様に、開発事業に伴う車両移動のため、3t積載車をご利用いただきました。当初は近隣のレンタル会社での手配を検討されていたものの、3月・4月の繁忙期と重なり、普段利用されている業者では貸出が難しい状況だったとのことでした。そのため、条件に合う車両をお探しになった結果、当社へご依頼をいただきました。

繁忙期でも必要なタイミングで車両を確保できたことが、今回ご利用いただくきっかけとなりました。納車後は車両の状態にもご満足いただき、納車時の対応についても、「丁寧に案内していただき、とても良い対応でした」とのご感想をいただいております。今後も安心してご利用いただけるサービスを目指してまいります。



営業ナンバー対応型トラックリース

サブスク de スグのり

料金改定のお知らせ

平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、様々な原材料費の高騰・コスト増加に伴い価格改定させていただくこととなりました。つきましては、下記の期間より価格を改定させていただきます。

誠に不本意ではございますが、品質維持とサービス向上のため、

何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

記

改定日：令和8年7月1日以降の新規ご契約・更新ご契約

対象商品：サブスク de スグのり

改定金額：従来対比 10%～20%アップ

その他：中古車両につきましてはメンテナンス無しプランを廃止し、メンテナンス有りプランに一本化させていただきます。

詳細は弊社HPでもご確認いただけます

サブスク de スグのり 検索 <https://sugunori.truckland.jp>

日本ビューテックは
「安全と笑顔を支える」ために
皆様と共に進んでいきます。

多機能ドライブレコーダー 録太郎
VHR-851FHD



- ✓ 最大8個のFull HDカメラ1080P搭載可能
- ✓ 業界最高レベルの高画質映像録画
- ✓ 長時間録画
- ✓ SDカード併用で万全のバックアップ録画体制
- ✓ バックカメラと連動して前後2カメラで録画可能

フルHD 超高画質ドライブレコーダー 撮太郎
VF-DVR-202



- ✓ 自動で記録を開始・停止
- ✓ 本体液晶、パソコンどちらでも映像再生
- ✓ SDカード最大128GBまで対応
- ✓ 2カメラ同時録画が可能
- ✓ 広画角で視界をカバー

ナイスビューモニター
VH-S20



- ✓ 業界最高水準の映像品質
- ✓ 高い拡張性
- ✓ 業界最高水準のIP69の防水性
- ✓ 夜間映像が鮮明
- ✓ 先進の信頼性

全日本トラック協会助成金対象機種



www.nvt.co.jp

VIEWTEC

株式会社 日本ビューテック
Viewtec Japan Co., Ltd.

〒211-0041 神奈川県川崎市中原区下小田中 3-26-6 (TEL) 044-777-7771 (FAX) 044-777-8880

アンケートに答えてプレゼントを貰おう!

月刊トラックランド 読者プレゼント



SCANIA ブランドグッズ
A5 ロゴ入り手帳 / 3名様



S-RENT オリジナルグッズ
Tシャツ / 2名様 ※色は選べません

応募方法

右記QRより必要事項とご希望のプレゼントをお選びいただきご応募ください。
【応募締め切り】2026年8月31日(月) 23:59 まで



※ご不明な点は右記お問合せ先までご連絡ください。トラックランド編集部 TEL : 045-264-4498 Mail : hansoku@takanet-s.com

なお、当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。※ご希望のプレゼントはおひとり様一点に限らせていただきます。※ご応募いただいたお客様の個人情報を許可なく当社編集部以外の第三者へ開示することはありません。※ご入力いただいた情報は月刊トラックランドの企画・取材参考として使用させていただきます。

編集後記

NEXT 月刊トラックランド vol.57 2026年9月下旬 ごろ発刊予定

今号では、神奈川県に本社をかまえる株式会社Logistep様のインタビューを掲載しております。普段馴染みのない港湾の業務など、非常に興味深いお話を聞かせていただきました。早くインタビューに応じていただいた北村様にはあらためて感謝申し上げます。また5月に開催され、弊社も出展した「ジャパントラックショー 2026」記事も併せて掲載。弊社としては5回目の出展ですが、私自身は初めての参加ということでたくさんの車両に囲まれ圧巻の空間でした。他にも弊社とのコラボレーション企画「コココテン・ヨコハマ」の紹介記事など情報満載でお届けいたします。ぜひご一読ください。(編集スタッフ：佐藤)

ShinMaywa

the BEST of the BEST
G-PX・G-RX

最新鋭2～4トン車級、フルラインナップ!

使う人・暮らす人を見つめた安全性、街に届け込む外観デザイン、そして洗練された積込性能でトップを走り続ける新明和工業の塵芥車。最新鋭の2～4トン車級をタイプ別にラインナップすることで、皆さまのニーズに最高峰のパフォーマンスでお応えします。

圧縮式 G-PX・回転板式 G-RX



新明和工業株式会社

https://www.shinmaywa.co.jp

特装車事業部 営業本部 〒230-0003 横浜市鶴見区尻手3-2-43 ☎(045)575-9907 FAX(045)575-0805
直販営業部 ☎(03)3842-6131 北海道支店 ☎(011)641-0511 東北支店 ☎(022)232-4241
関東支店 ☎(048)651-9741 東京営業部 ☎(03)3842-6120 中部支店 ☎(052)231-5191
関西支店 ☎(0798)51-3500 中国支店 ☎(082)285-1171 九州支店 ☎(092)411-5455





営業所のご案内

最新の車両情報は
HPでチェックできます！

トラックランド東日本車両センター
〒324-0412 栃木県大田原市蛭田1番225

トラックランド茨城
茨城県結城市若宮11-23

トラックランド埼玉
埼玉県さいたま市岩槻区鹿室606-3

本社
神奈川県横浜市西区みなとみらい3丁目6番4号
みなとみらいビジネススクエア

トラックランド東名浜松インター店
〒431-3115 静岡県浜松市東区西ヶ崎町1027

トラックランド近畿販売センター
京都府八幡市上奈良小端25

トラックランド近畿販売センター第二展示場
京都府八幡市岩田高木59番地

トラックランド山陰
鳥取県米子市吉谷620-1

トラックランド四国
高知県高知市大津乙1142-1 松岡ビル102

月刊トラックランドの過去記事やバックナンバーはこちらから！

月刊トラックランド ONLINE

<https://truckland.jp/store/mag/>



最新の車両情報は
ホームページで確認できます！

トラックランド <https://truckland.jp>



ランドレンタカー

レンタカーの予約リクエストはこちらから！

<https://landrentacar.jp>



トラックランド ID:truckland
LINE@友だち募集中！
最新車両のお得情報を配信中！



営業ナンバー対応のトラックリースなら
サブスクdeスグのり
<https://truckland.jp/sugunori>



随時更新中！
instagram
@truckland_official



いいね！募集中
facebook
@TRL.YOKOHAMA



本誌に関する
お問合せ先

株式会社タカネットサービス 月刊トラックランド編集部
〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい3丁目6番4号みなとみらいビジネススクエア
TEL:0120-617-417 FAX:0120-137-136 お電話受付時間 平日10:00~18:00(土・日・祝休)

